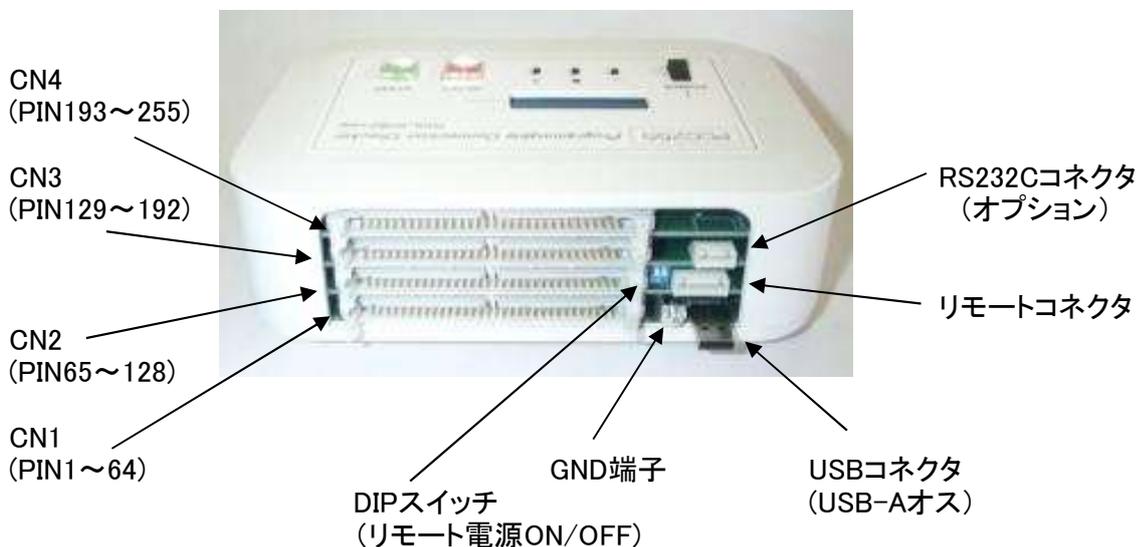
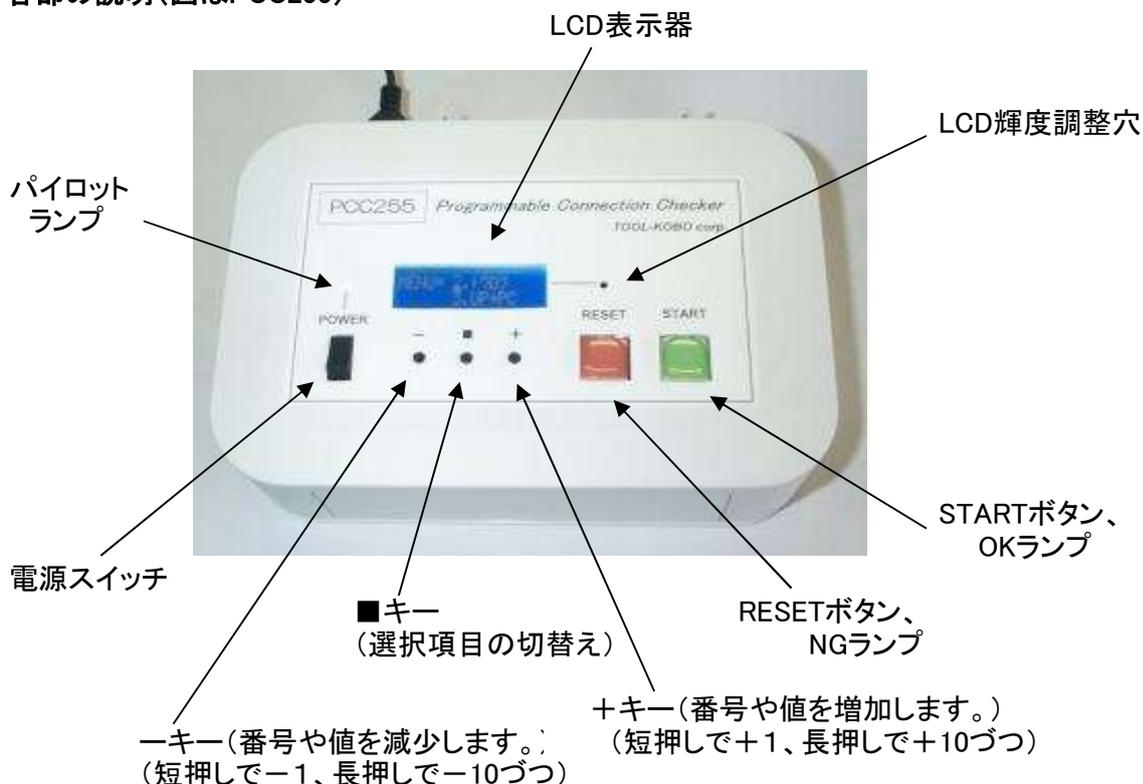


1. 概要

あらかじめプログラムされたデータに基づいて、各ピン間の導通/絶縁を自動チェックします。またプログラムは登録番号や使用ピン数を指定して検査対象に接続し、「START」ボタンを押すことにより自動で行われ、非常に簡単に登録できます。USBによるパソコンとの連携機能も搭載し、「検査ログ出力」のほか、検査データの「パソコンへのアップロード」、「パソコンからのダウンロード」が可能です。アップロードされたデータはパソコン上で保存、また編集することもできます。検査機能に関してはパソコンからコマンドを送り、リモートで操作できます。インターフェースはUSBのほかRS232C、Bluetoothが使えます。(オプション、PCC255のみ)その他に「リモートコネクタ」を備え、外部のスイッチからリモート操作が可能です。(PLCにも対応)「PCC255」(255ピン)と「PCC128」(128ピン)の2機種を用意しました。

2. 各部の説明(図はPCC255)



3. 使用方法

◎あらかじめ、チェッカー本体と検査対象を接続するための専用の接続治具を製作します。

- MENU1. 検査
＋キーおよび－キーで登録番号を設定し、「START」ボタンを押すと検査開始、OKの場合は結果を「緑ランプ」とブザーで表示します。NGの場合は「赤ランプ」とブザーで表示し、「RESET」ボタンで解除。また、「START」ボタンを押している間連続検査を実行します。
- MENU2. 登録
＋キーおよび－キーで登録番号と使用ピン数を設定し、「START」ボタンを押すと検査対象の導通／絶縁状態を読み込み、登録されます。上記項目の切り替えには■キーを用います。
- MENU3. アップロード
＋キーおよび－キーで登録番号を設定し、「START」ボタンを押すとパソコンに検査データを送信します。ターミナルソフトで受信します。検査データはテキスト形式のため「メモ帳」に貼り付けると編集や保存が可能です。
- MENU4. ダウンロード
パソコンに保存した検査データをターミナルソフトでチェッカーに送信するとチェッカーに再登録できます。
(同一登録番号の場合は書き換えられます。)
- MENU5. セルフチェック
同一ピン番号同士の「導通」、異なるピン番号同士の「絶縁」をチェック。これによりチェッカー本体が正常であることを確認できます。
- MENU6. ピン番号チェック
背面の「GND」端子を治具上のピンに接続するとピン番号を表示します。チェッカー画面で表示されるピン番号はチェッカー本体のピン番号です。治具上のピン番号とチェッカー本体のピン番号とを照合する対比表の作成などに利用します。

4. 仕様

- (1) 検査ピン数 max. 255ピン(PCC255)、 max. 128ピン(PCC128)
- (2) 検査方法 登録された検査データに基づいてピン間の導通をチェックした後、各ノード間の絶縁を総当りでチェックします。
- (3) 抵抗値計測方法 基準抵抗との比較法
- (4) 導通判定 おおむね100Ω以下を「導通」とします。
- (5) 絶縁判定 おおむね100KΩ以上を「絶縁」とします。
- (6) 検査時間 数mS～数10mS(検査ピン数、検査対象による。)
- (7) 連続検査モード 有り
- (8) 検査データ登録数 100型式
- (9) リモート機能
①リモートコネクタ
「START」「RESET」ボタン入力、「OK」「NG」出力、+5V
②インターフェース(USB、RS232C、Bluetooth)
「START」「RESET」コマンド入力、「OK」「NG」ログ出力
「登録番号」設定コマンド
- (10) プログラム機能 有り(自動)、登録番号および使用ピン番号指定
- (11) セルフチェック機能 有り(簡易方式)
- (12) ピン番号表示 背面の「GND」端子と各ピンを接続することにより可能。
- (13) 電源 DC5V 0.15A (USBコネクタから供給する。)
- (14) 重量・寸法 620g、200Wx135Dx60H、突起部含まず。(PCC255)
450g、200Wx135Dx40H、突起部含まず。(PCC128)

ツール工房有限公司

〒444-0055
愛知県岡崎市西魚町24番地3
TEL/FAX 0564-28-7531
Email office@tool-kobo.ddo.jp
http://tool-kobo.ddo.jp
